

HL-1300STV

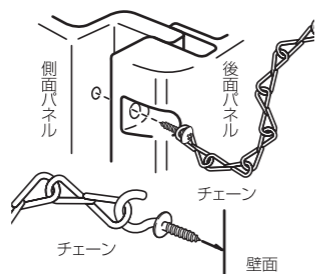
**使用上のご注意**

下記の事項を必ずお守りください。守らないで、破損、事故を起こしたり、ケガを負った場合、当社は一切の責任を負いかねます。

**転倒防止チェーンの使用法**

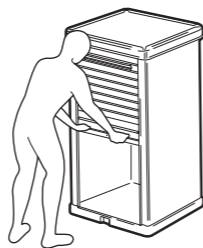
側面及び後面パネルの穴(12カ所)に、チェーンとフックを使用して母屋や壁面に固定すると、より安心です。

- ※風の強い場所に設置する場合は、必ずご使用ください。
- ※後面の固定用ネジとチェーンを共締りにしてください。
- ※転倒防止チェーンは上段の後面と壁面に取り付けてください。



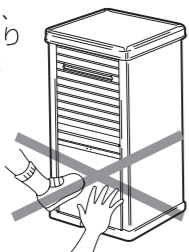
- シャッターの開閉は、両手で均一に行ってください。

シャッターを斜めにしますと、開閉できなくなる場合があります。



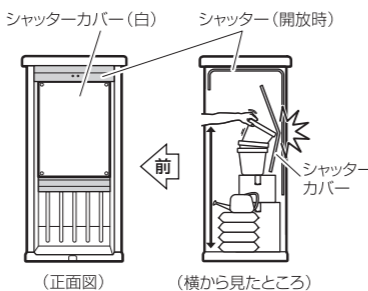
- シャッターに手や足などをはさまないように、ゆっくり閉めてください。

急激に閉めると、破損の原因となりますのでご注意ください。



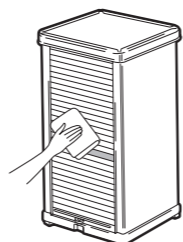
- 本体内側のシャッターカバーに、収納物を押し付けすぎないようにご注意ください。

シャッターカバーが変形すると、シャッターが開かなくなったり、収納物を破損するおそれがあります。



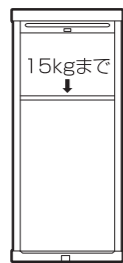
- シャッターが雨などで濡れている時は、シャッターをタオルなどで拭いてから開けてください。

中に水が入ることがあります。

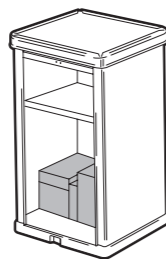


- 棚板には、15kg以上の荷重をかけないでください。

※フック1個には2kg以上の荷重をかけないでください。



- 高所や風の強い所では、倒れないように固定することをおすすめします。
- 中には熱や湿気に弱いものを入れないでください。



- 製品の汚れは、薄めた中性洗剤を柔らかい布やスポンジにつけて洗い流してください。
- シンナー、ベンジン、みがき粉入り洗剤は、変形・変質・破損の原因になりますので、絶対に使用しないでください。



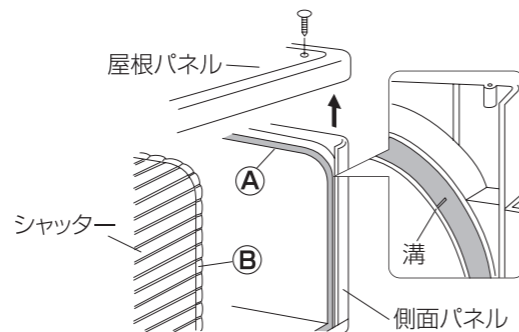
- 灯油、ガソリンなどをこぼした場合は、すぐに拭き取ってください。そのままにしておくとプラスチック部品の変形・変質のおそれがあります。
- お子さまがいたずらしないようご注意ください。
- 乗る、ゆするなどの無理な力をかけないでください。
- 水洗いする際は、ロッカー内の収納物を取り出してから行ってください。
- 天災などの不可抗力や、不当な修理・改造による事故・破損に対する補償は致しかねます。
- 製品および梱包材を廃棄される際は、お住まいの自治体の取り決めに基づいた処理をお願いします。

**シャッターがきつくなった場合のお手入れ方法**

長時間の使用で、ほこり等の汚れによりシャッターの上げ下げがきつくなる場合があります。その際は、右図④・⑤部分をお手入れしていただくと、上げ下げがスムーズになります。

- ④部分(側面パネルのシャッター受け溝)及び⑤部分(シャッターの耳部)を薄めた住宅・家具用合成洗剤で汚れをよく落とし、水洗いしてください。再度組み立てる際は、水気をよく拭き取ってください。

※ゴミなどを除いてもきつい場合はシリコン系グリスなどをレールに塗布してください。



**アイリスオヤマ株式会社** お問い合わせはお気軽にアイリスコールに  
 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 アイリスコール 受付時間 9:00~17:00  
 ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/> **0120-211-299**



**ホームロッカー  
HL-1300STV**

このたびはお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、本書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

**必要工具**

- ・⊕ドライバー
- ※ドライバーは、握り部分が直径3cm以上のものをご使用ください。

**注意**

インパクトドライバーは使用しないでください。破損するおそれがあります。

- 製品サイズ / (外寸) 幅61×奥行56×高さ136 (cm)  
(内寸) 幅約55×奥行約45×高さ約126 (cm)

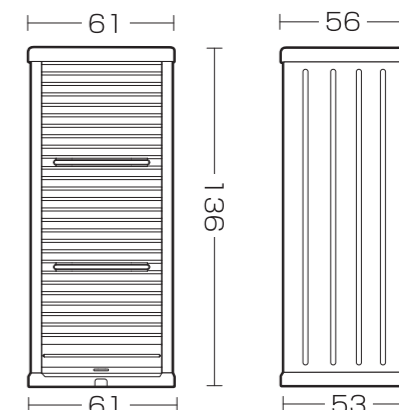
- 主要材質 / 本体: ポリプロピレン、フック: ABS樹脂、棚板: 鋼板(メラミン焼付塗装)、ネジ: ステンレス

カギ用金具セット: スチール(ユニクロメッキ)、シャッター: 塩化ビニル樹脂

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

MADE IN CHINA

050210-030-LXD  
**取扱説明書**

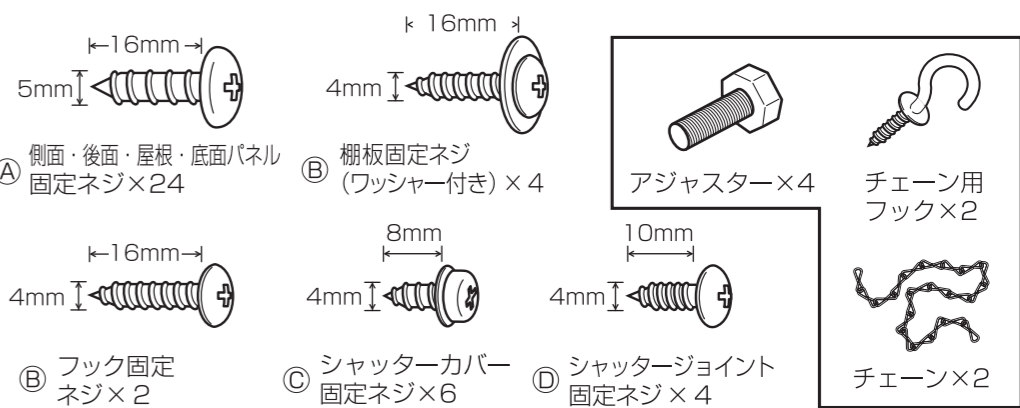
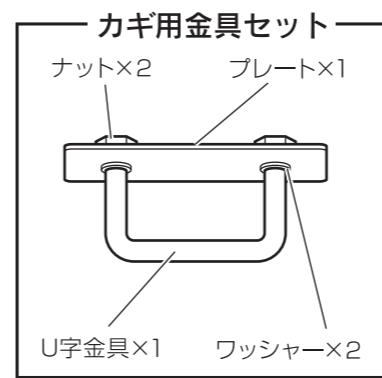
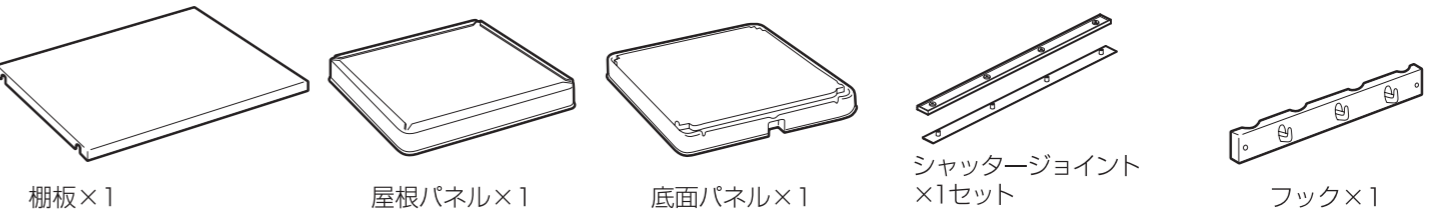
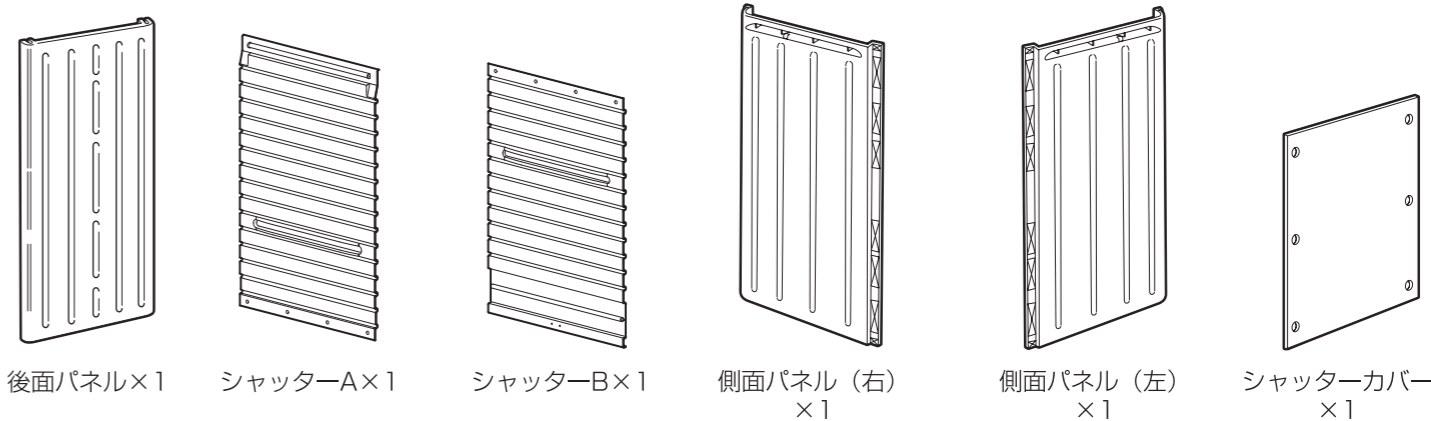


**組み立て上の注意**

屋根パネル、底面パネル、側面パネル、後面パネル、シャッターには、組み立て方向がわかるように矢印と文字で印字してありますので、組み立て時にご確認ください。

**パーツリスト**

- 組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることをお確かめください。
- 表記以外の部材は梱包材です。



# 組み立て方

## ⚠️ 組み立て時の注意

- 組み立ての際は軍手などを着用し、ケガなどにご注意ください。
- 組み立ては床等に傷が付かないように、あて布やカーペット等を敷いて平らな場所で行ってください。

**1 後面パネルに側面パネル(左)(右)を取り付けます。**  
側面パネルを後面パネルの溝に差し込み、ネジ(A)で固定します。

側面パネル(左)  
側面パネル(右)  
後面パネル  
ネジ(A)×8

**2 シャッターカバーを取り付けます。**  
1 組立品を後に倒し、シャッターカバーを側面パネルのシャッターガイドにネジ(C)で固定します。

シャッターカバー  
ネジ(C)×6  
シャッターガイド

**3 屋根パネルを取り付けます。**  
2 組立品を立てて屋根パネルをのせ、ネジ(A)で固定します。

屋根パネル  
ネジ(A)×8

**4 シャッター(A)(B)を組み立てます。**

シャッターA  
シャッターB  
シャッタージョイント(後)  
シャッタージョイント(前)  
ネジ(C)×4  
シャッターAが前になるように組み立ててください。

**5 シャッターを取り付けます。**  
3 組立品を横に倒し、シャッター上側からシャッターガイドに沿って差し込んで行き、シャッターをいっぱいに向けた状態にしてください。

シャッターガイド  
屋根パネル  
シャッターが側面から外れないようにしてください。

**6 底面パネルとアジャスターを取り付けます。**  
底面パネルを後面・側面パネルの下部にネジ(A)で固定し、アジャスターを取り付けます。

アジャスター  
底面パネル  
ネジ(A)×8

**7 フックを取り付けます。**  
6 組立品を上下逆さまにし、側面パネルの凸部にフックをネジ(D)で固定します。

フック  
ネジ(D)×2

※フックは、左右どちらにも取り付けできます。フック1個あたり、2kg以上の荷重をかけないようにしてください。

**8 棚板を取り付けて完成です。**  
側面パネルの凸部にネジ(E)(ワッシャー付き)を取り付け、棚板をのせます。

ワッシャー×4  
棚板  
ネジ(E)×4

※棚板の高さは4段階に調節できます。  
※棚板の耐荷重は15kgです。

※設置位置によりガタツキがありますので、その際はアジャスターを調節してください。

下がる 上がる

**カギの取り付け方**  
市販の南京錠#40(φm)タイプがご使用になれます。

ナット×2  
プレート×1  
ワッシャー×2  
U字金具×1

【U字金具の取り付けについて】  
シャッターにU字金具を取り付ける際は、ナットを最後までしっかりと締め付けてください。緩みがあると、シャッター開閉時の振動によりナットが外れるおそれがあります。